

楽天・インカム戦略ポートフォリオ ・アルファ(奇数月決算型)

<愛称：みのたけ>

追加型投信/海外/資産複合

交付運用報告書

(作成対象期間 2023年7月11日~2024年1月10日)

第30期(決算日 2023年9月11日)

第31期(決算日 2023年11月10日)

第32期(決算日 2024年1月10日)

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いました。当ファンドは、主に投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国株式、米国投資適格債券、米ドル建て高利回り債券に分散投資を行い、インカム収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。ここに当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号

本資料(交付運用報告書)の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

Rakuten 楽天投信投資顧問

当作成期末

基準価額	10,236円
純資産総額	1,757百万円
騰落率	5.6%
分配金合計	150円

(注)騰落率は分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページアドレスにアクセス

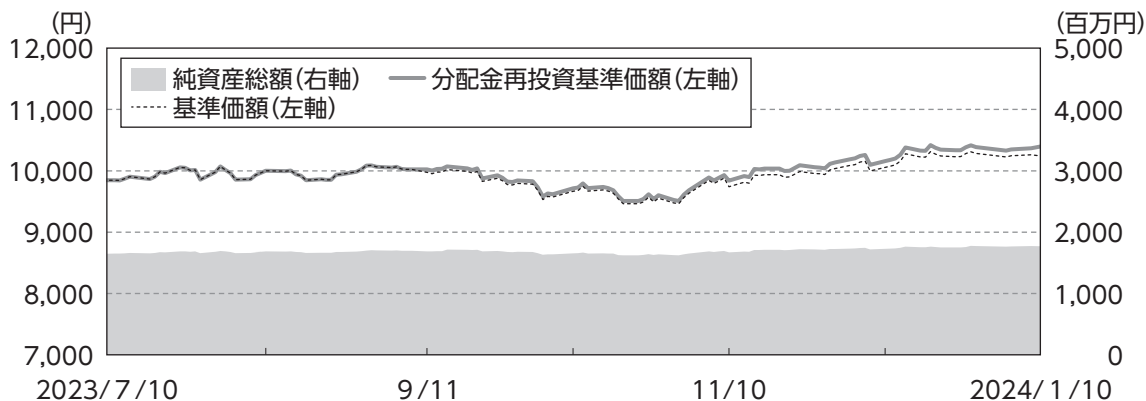
⇒「基準価額一覧」から当該ファンドを選択

⇒「運用報告書(全体版)」を選択し、閲覧およびダウンロード

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



第30期首：9,838円

第32期末：10,236円(既払分配金150円)

騰落率：5.6%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、投資している複数のETF(以下、「投資先ファンド」といいます。)の価格変動の影響を受けます。また、保有する米ドル資産に対して部分的な為替ヘッジを実施しているため、米ドル/円相場の変動や為替ヘッジにかかるコストの影響を受けます。

当作成期は、すべての投資先ファンドが前作成期末比で上昇し、基準価額は上昇しました。一方で、為替要因は、米ドルが対円で上昇したものの、日米の金利差等に起因する為替ヘッジコストの高止まりにより、マイナス寄与となりました。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	2023年7月11日～2024年1月10日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	73円 (16) (55) (2)	0.735% (0.166) (0.553) (0.017)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,929円です。 ・委託した資金の運用の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	9 (2) (0) (6) (1)	0.093 (0.016) (0.005) (0.062) (0.010)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	82	0.830	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

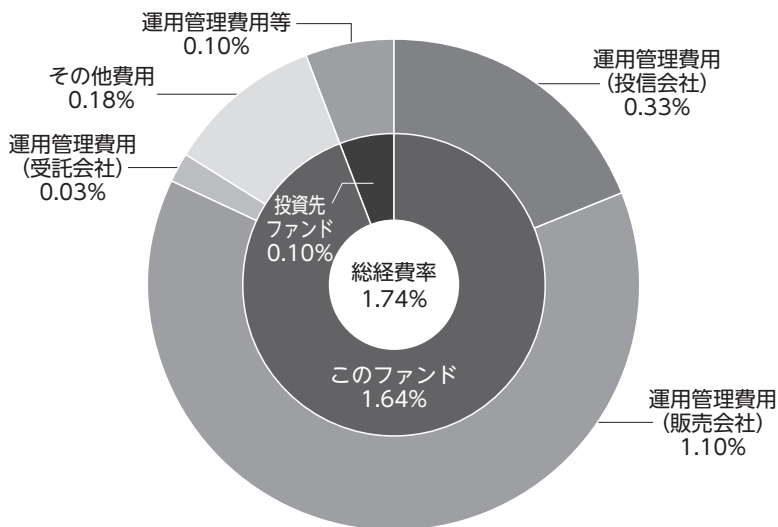
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

■ (参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



総経費率 (①+②)	1.74%
①このファンドの費用の比率	1.64%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.10%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

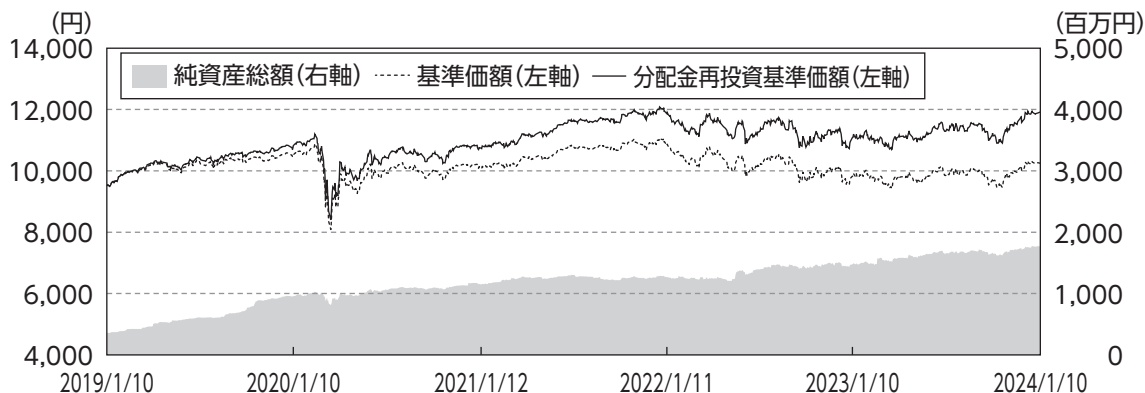
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年1月10日～2024年1月10日)



	2019年1月10日 決算日	2020年1月10日 決算日	2021年1月12日 決算日	2022年1月11日 決算日	2023年1月10日 決算日	2024年1月10日 決算日
基準価額 (円)	9,505	10,517	10,065	10,815	9,813	10,236
期間分配金合計 (税込) (円)	—	290	350	300	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	13.8	△0.8	10.5	△6.5	7.5
純資産総額 (百万円)	331	942	1,135	1,249	1,465	1,757

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、2019年1月10日の基準価額を起点として指数化しています。

5 投資環境

当作成期の米国国債市場では、長期金利はいつてこの展開となり、前作成期末比ほぼ横ばいとなりました。

労働市場のひっ迫や米国経済の底堅さを示す経済指標などを受けてFRB(米連邦準備制度理事会)が金融引き締め姿勢を継続したことや、国債発行額の増加による需給悪化懸念などを受けて、長期金利は大きく上昇し、2023年10月下旬には一時、約16年ぶりとなる5%台まで上昇しました。その後、11月のFOMC(米連邦公開市場委員会)においてパウエルFRB議長がハト派的(金融引き締め)に消極的な姿勢を示したことや、予想を下回る10月雇用統計などを受けて、利上げサイクル終了ならびに早期利下げ観測が広がるなか、長期金利は期末にかけて上昇幅を縮小する展開となりました。なお、2年債利回りが10年債利回りを上回る逆イールドの状態は期を通して継続しました。

米国社債市場では経済のソフトランディング(軟着陸)への期待を背景に、信用スプレッド(米国国債に対する上乗せ金利)は前作成期末比で縮小しました。

当作成期の米国株式市場は、上昇しました。

インフレ指標の低下や景況感の改善などを背景とした経済のソフトランディング期待の高まりを受けて、米国株式市場は堅調な滑り出しとなったものの、大手格付け会社フィッチによる米国債の格下げや、長期金利の上昇とそれに伴う景気減速への懸念、中東における地政学リスクの高まりなどを受けて、株式市場は2023年10月下旬にかけて軟調地合いとなりました。しかし、パウエルFRB議長によるハト派的な発言や予想を下回る10月雇用統計などを受けて長期金利が低下基調に転じると、ソフトランディングへの期待が再び高まるなか、株式市場は反転し、期末にかけて急速に持ち直す展開となりました。すべてのセクターが前作成期末比で上昇し、特に通信セクターや金融セクター、情報技術セクターなどが堅調な推移となりました。

米国リート市場も、株式市場と同様に、金融引き締めの長期化やそれに伴う景気減速への懸念などが重しとなり10月下旬にかけてまとまって下落する展開となりました。しかしその後は、パウエルFRB議長のハト派的な発言などを受けて長期金利が低下基調となったことなどをを受けて大幅に反発し、前作成期末比で上昇した水準で期末を迎えました。

当作成期の米ドル/円相場では、期初1米ドル=141円前後でスタートした後、日本当局による為替介入や日本銀行の政策修正への警戒感から円高に振れる場面はありましたが、米金利の上昇と歩調を合わせる形で大幅に米ドル高/円安が進行し、2023年10月から11月にかけては一時1米ドル=151円台後半に達しました。その後は米金利上昇が一服したことなどを背景に反転し、2024年年初には、1米ドル=141円割れの水準まで米ドル安/円高が進行しましたが、予想を上回る米国の雇用関連指標などを受けて上昇基調となった米金利に併せて再び米ドル高/円安基調となり、期末には145円前後で推移しました。

米ドルの対円ヘッジコスト(3ヵ月フォワードレートを年率化)は、期初は5.7%台でスタートし、一時6.2%台後半まで上昇した後反転し、期末には5.6%台で推移しました。

6 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは主に投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国株式^(※1)、米国投資適格債券、米ドル建て高利回り債券^(※2)に分散投資を行い、インカム収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。また、為替変動リスクの低減を目的に、組入外貨建資産に対して40%程度を基本として対円での為替ヘッジを行います。

当作成期は、米国株式20%、米国投資適格債券35%、米ドル建て高利回り債券45%を基本配分とし、概ねその基本配分に沿うかたちで投資信託証券への組入比率を維持しました。

※1：米国株式に、米国リートを含める場合があります。

※2：米ドル建て高利回り債券は、米ドル建てのハイ・イールド債券および新興国債券を指します。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

分配金額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定しました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

(1万口当たり・税込)

項 目	第30期	第31期	第32期
	2023年7月11日～2023年9月11日	2023年9月12日～2023年11月10日	2023年11月11日～2024年1月10日
当期分配金 (円)	50	50	50
(対基準価額比率) (%)	(0.499)	(0.511)	(0.486)
当期の収益 (円)	50	50	50
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,230	1,243	1,273

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当面、米国株式20%、米国投資適格債券35%、米ドル建て高利回り債券45%を基本配分(報告書作成日現在の投資対象資産および配分のイメージであり、投資対象資産およびそれらへの配分比率は将来変更される場合があります。)とし、概ねその基本配分に沿った投資信託証券への組入比率を維持する方針です。また、為替変動リスクの低減を目的に、組入外貨建資産に対して40%程度を基本として対円での為替ヘッジを行います。

お知らせ

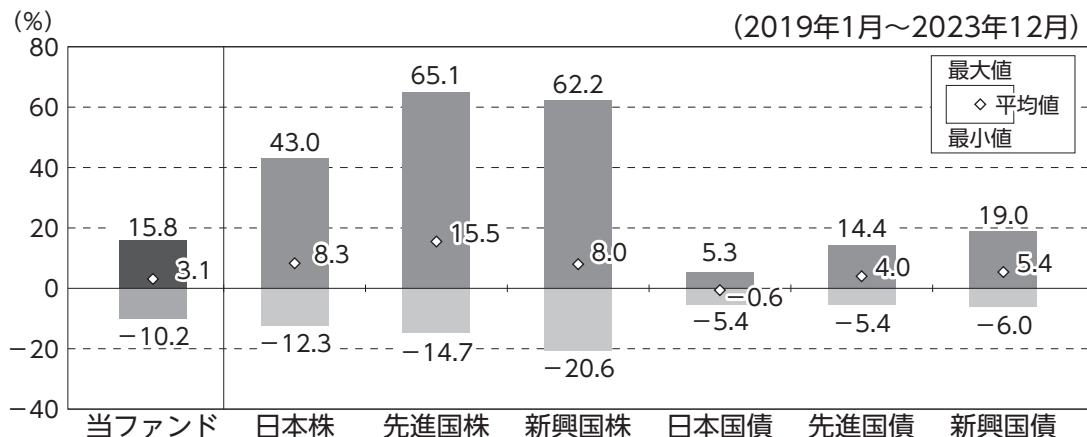
2028年7月7日までとしている信託期間を無期限とするため、投資信託約款へ所要の変更を行いました。

(約款変更実施日：2023年10月11日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	無期限(2018年7月26日設定)
運用方針	安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	①投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国株式 ^{*1} 、米国投資適格債券、米ドル建て高利回り債券 ^{*2} に分散投資を行い、インカム収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ※1：米国リートを含める場合があります。 ※2：米ドル建てのハイ・イールド社債および新興国債券を指します。 ②為替変動リスクの低減を目的に、組入外貨建資産に対して40%程度を基本として対円での為替ヘッジを行います。 ③投資信託証券への投資割合は、原則として高位を維持することを基本とします。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるよう、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。なお、当ファンドの騰落率は、設定日以降で算出可能な期間のみであり、代表的な資産クラスの対象期間と異なります。

当ファンドの対象期間：2019年7月～2023年12月

代表的な資産クラスの対象期間：2019年1月～2023年12月

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス(円ベース)

先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債(日本除く)インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て高流動性国債インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

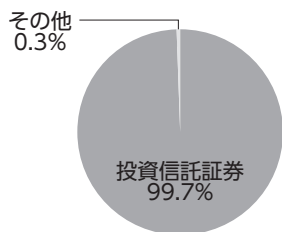
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

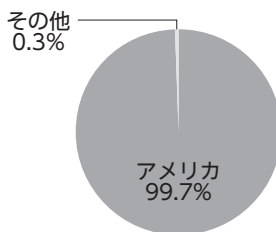
■組入ファンド

	当作成期末
Xtrackers 米ドル建てハイ・イールド社債ETF	44.9%
バンガード・米国長期社債ETF	34.7%
バンガード米国REIT ETF	10.1%
iシェアーズ・コア 米国高配当株ETF	10.1%
その他	0.3%
組入ファンド数	4

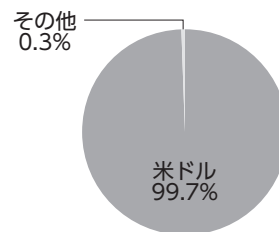
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第30期末	第31期末	第32期末
	2023年9月11日	2023年11月10日	2024年1月10日
純 資 産 総 額	1,674,931,229円	1,657,005,702円	1,757,667,594円
受 益 権 総 口 数	1,680,264,170口	1,702,387,802口	1,717,172,847口
1万口当たり基準価額	9,968円	9,733円	10,236円

※期中における追加設定元本額は96,013,845円、同解約元本額は42,136,515円です。

3 組入ファンドの概要

i シェアーズ・コア 米国高配当株ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2022年5月1日～2023年4月30日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

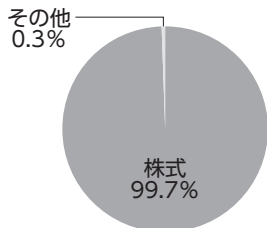
■組入上位10銘柄

(2023年4月30日現在)

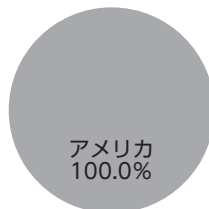
	銘柄名	国/地域	比率 %
1	Exxon Mobil Corp.	アメリカ	8.8
2	Johnson & Johnson	アメリカ	6.9
3	Verizon Communications, Inc.	アメリカ	6.2
4	Chevron Corp.	アメリカ	6.1
5	AbbVie, Inc.	アメリカ	5.8
6	Pfizer, Inc.	アメリカ	4.9
7	Broadcom, Inc.	アメリカ	4.1
8	Coca-Cola Co.	アメリカ	4.0
9	Cisco Systems, Inc.	アメリカ	3.3
10	International Business Machines Corp.	アメリカ	3.2
	組入銘柄数		75

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

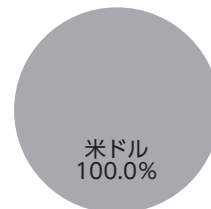
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

3 組入ファンドの概要

バンガード米国REIT ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2022年2月1日～2023年1月31日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

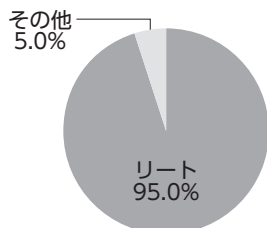
■組入上位10銘柄

(2023年1月31日現在)

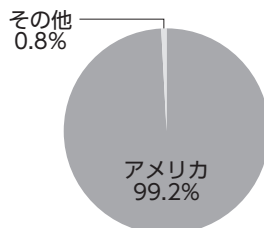
	銘柄名	国/地域	比率 %
1	Vanguard Real Estate II Index Fund Institutional Plus Shares	アメリカ	12.2
2	Prologis Inc.	アメリカ	7.6
3	American Tower Corp.	アメリカ	6.7
4	Equinix Inc.	アメリカ	4.3
5	Crown Castle Inc.	アメリカ	4.1
6	Public Storage	アメリカ	3.1
7	Realty Income Corp.	アメリカ	2.7
8	Simon Property Group Inc.	アメリカ	2.6
9	Welltower Inc.	アメリカ	2.1
10	SBA Communications Corp. Class A	アメリカ	2.1
	組入銘柄数		167

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

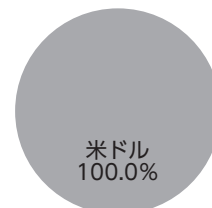
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

3 組入ファンドの概要

バンガード・米国長期社債ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2022年9月1日～2023年8月31日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

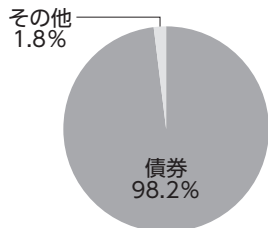
■組入上位10銘柄

(2023年8月31日現在)

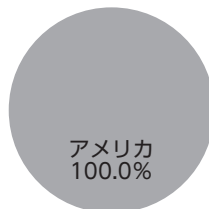
	銘柄名	国/地域	比率 %
1	Anheuser-Busch Cos LLC / Anheuser-Busch InBev Worldwide Inc 02/01/2046	アメリカ	0.4
2	CVS Health Corp 03/25/2048	アメリカ	0.3
3	Pfizer Investment Enterprises Pte Ltd 05/19/2053	アメリカ	0.3
4	Goldman Sachs Group Inc/The 10/01/2037	アメリカ	0.3
5	Warnermedia Holdings Inc 03/15/2052	アメリカ	0.3
6	Boeing Co/The 05/01/2050	アメリカ	0.3
7	Anheuser-Busch Cos LLC / Anheuser-Busch InBev Worldwide Inc 02/01/2036	アメリカ	0.3
8	AT&T Inc 09/15/2055	アメリカ	0.3
9	AT&T Inc 12/01/2057	アメリカ	0.2
10	AbbVie Inc 11/21/2049	アメリカ	0.2
組入銘柄数			2,800

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

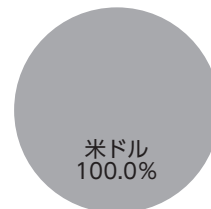
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

3 組入ファンドの概要

Xtrackers 米ドル建てハイ・イールド社債ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2022年9月1日～2023年8月31日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

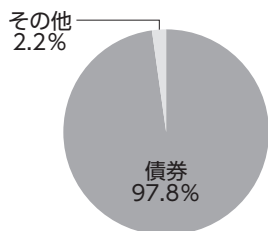
■組入上位10銘柄

(2023年8月31日現在)

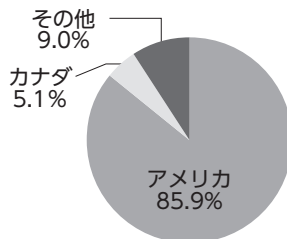
	銘柄名	比率 %
1	TRANSDIGM INC 6.25 3/15/2026	0.5
2	MOZART DEBT MERGER SUB 3.875 4/1/2029	0.5
3	PICARD MIDCO INC 6.5 3/31/2029	0.4
4	US DISH Network Corp 11 3/4% due 27 144A	0.4
5	US TIBCO Software Inc 9% due 29 144A	0.4
6	US Colt Merger Sub Inc 6 1/4% due 25 144A	0.4
7	US Carnival Corp 5 3/4% due 27 144A	0.4
8	TEVA PHARMACEUTICALS NE 3.15 10/1/2026	0.4
9	CCO HLDGS LLC/CAP CORP 5.125 5/1/2027	0.4
10	INTELSAT JACKSON HLDG 6.5 3/15/2030	0.3
	組入銘柄数	1,075

(注)組入比率はポートフォリオに対する評価額の割合です。

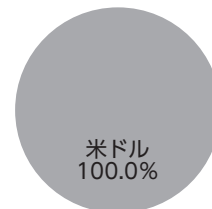
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注)組入比率は総資産総額に対する評価額の割合です。